

政策	71 市民と行政の協働と情報共有化の推進						
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	有	受益者負担	適正	
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有	
対象	市民全般						
施策が目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> 一体感のある栃木市の創出を念頭に、地域の特性に応じた市民によるまちづくりを推進する。 市民活動や地域活動を支える市民団体・コミュニティ組織への支援、適切な市民参画機会の確保、市民と行政との情報の共有化などを図る。 						
成果指標	住民参加の満足度.....5年間（平成25年度～平成29年度）で70.0%（現状値44%） 行政情報の満足度.....5年間（平成25年度～平成29年度）で70.0%（現状値44%）						
目標達成状況			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	成果指標1 [%]	予定					70.00
		実績					
	成果指標2 [%]	予定					70.00
		実績					
	成果指標3 []	予定					
		実績					
	成果指標4 []	予定					
実績							
トータルコスト (千円)	予定	846,214	1,219,866	0	0	0	
	実績	806,724	946,056			0	
内部評価	貢献度	基本方針が目指す姿である「一体感の創出」や市民と行政が共に考え共に築いていくまちづくりを進める上で、本基本施策の目標の達成は大きく貢献するものである。					
	達成状況	市民満足度及び行政情報の満足度を図る調査は、平成28年度に実施予定である。					
	課題	審議会等の委員の女性の比率は、規定を満たしておらず庁内での温度差も見られる。					
	取組方針	審議会等の女性の比率を高め男女格差の解消を図るとともに、各地域間での市民参加の機会を高めるため、新たな地域自治制度を進め、下位単位施策の実績向上を図る。					
外部評価	成果指標に対する進捗は各施策評価を勘案すると概ね順調に進捗しているが、各地域ごとのこだわりが強く残っていると感じられるので、一体感の創出を図るために継続した息の長い施策の取組が必要である。そのためにも地域の特色を生かした市民意識の醸成に繋がる施策の構築を望む。 本市において、市民団体は増加傾向にあると思われるので、市民と行政の協働によるまちづくりの推進にあたっては、全市域にわたる主体的な市民団体のネットワーク構築及び市民団体と行政の更なる連携強化を望む。						
基本施策達成のための単位施策	施策コード	名 称				トータルコスト(千円)	達成度
	7101	地域自治の仕組みづくり				31,075	100
	7105	情報共有化の推進				78,051	99
	7103	市民活動の推進				106,412	98
	7102	身近なまちづくりの推進				113,907	90
	7104	市民参画の充実				616,611	80